



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功
副会長 高杉 治興
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

押川 幸男

『25 イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。
わたしを信じる者は、死んでも生きる。
26 生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬこと
はない。このことを信じるか。』
(ヨハネによる福音書 11 章 25~26 節)。

今月のひとこと

「85周年に思う」

松島 美一



わが横浜ワイズメンズクラブは今年85周年を迎えます。大阪ワイズメンズクラブをスポンサークラブとして1930年12月15日にチャーターされました。日本では大阪、神戸に続く3番目、現東日本区では最古のクラブと伝えます。これだけ年月

を経ると設立時の会員、チャーターメンバーは現存せず、当時のことは記録に頼るしかありません。

設立からの5~15年に当たる戦時下では日本全体もYMCA、日本のキリスト教徒にとっても、歴史上類を見ない激動の時代でした。クラブ解散を考えた時もあったと聞いています。当時のメンバーたちに面識はありませんが、その時代を乗り切ってきたことにご苦労様と言いたい気持ちです。

不幸な時代を凌ぎ、18周年の1948年(昭和23年)には全国的にワイズメンズクラブの活動が復興し、16クラブにより第3回日本区大会が開かれ、横浜クラブも22名の

メンバーがいたと記録されています。

60周年には記念の式典、祝宴を開き、多くの客人を招きました。60周年記念準備委員長は現功労会員の高杉治興ワイズでした。15年前の70周年には神村浩正会長のリーダーシップにより「バンコクにエイズ孤児ケアセンターをつくるプロジェクト」を記念事業とし、記念誌も刊行しています。75および80周年には私もメンバーとして関わり、記念礼拝とささやかな祝会をしました。

「クラブ古きが故に尊からず。現在の活動が第一」と肝に銘じつつ、周年記念に行うべき第一のことは今日までクラブを導いた神と先人への感謝であると思っています。

<2015年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
19名 (功労 会員1 名を 含む)	メン 17名 メネット 4名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 2名 合計 25名	89 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 1,050 g 現金 0 円 年度累計 切手 3,493 g 現金 0 円

<11月の行事予定>

ワイズ理解、ファミリーファスト

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	月	9:00	ウェルカムフェスタ	中央Y
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

＜10月例会報告＞

高田 一彦

日時：10月8日（木）18：30～20：30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：天野、伊藤・メネ、今村、大江、大高、押川・メネ、金子・メネ、神村、齋藤、高杉・メネ、高田、田口、成瀬、舟田、古田、松島、山添、ビジター：伊藤（東京コスモス）、今城部長（つづき）、ゲスト：古賀、長谷川

元気になられた松島ワイズの司会により、金子会長の開会点鐘で開始され、ワイズソング、ワイズの信条、今村ワイズによる今月の聖句、金子会長によるゲスト、ビジターの紹介と続き本日のハイライトである大高治ワイズの入会式へと移った。今城部長と高杉ワイズの立会い、出席者全員のローソクの灯りの下で、金子会長が入会式文を読み上げ、大高治氏



大高ワイズの入会式

の力強い宣誓の言葉で大高ワイズが誕生した。紹介者の高田ワイズの「2010年横浜国際大会での市民ボランティアとして参加されたのが

縁で、この7月に横浜中央YMCAを訪問された」に続き、大高ワイズより自己紹介が丁寧述べられ、今城部長の祝辞と高杉ワイズの激励の言葉が贈られた。今村ワイズの食前感謝に続いて食事。本日は、プログラムが盛沢山のために、食事の間に9月11日から開催された、第28回ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加した、横浜YMCAの西野リーダーの報告がスライドを通して行われた。普段サッカーを通してしか子供達に触れることの無かった西野君が冒険リーダーたちに触れ、コミュニケーションの大切さを学んだ事等が語られた。フォーラムに参加した天野ユース事業主査からのコメントも添えられた。

本日の卓話は、金子会長の紹介で日本笑い学会会員、国際ユーモア学会会員の長谷川ゆみこ真弓氏で、「まずくてありがとう～長谷川家超楽観ワールドへようこそ」と題して、長谷川氏が、家族の中で培ってきた爆笑エッセーを披露され、会場が笑いの渦で一杯となった。御主人が癌の手術をされた後、抗癌剤を使わずに笑いだけで今も6年間ピンピンしている等のエピソードも笑い、ユーモアの効力かと恐れ入った。

ビジネスに移って、金子会長より以下が報告された。

- 1) 主事一時交替（10月～12月 青木さんから山添さん）
- 2) 11月例会にて古賀健一郎さんの入会式を執り行う
- 3) 来年2月開催の日本語学科スピーチコンテストへのCS/Yサ支援金が承認された
- 4) ミャンマー洪水緊急支援、東日本豪雨災害緊急支援に各2万円を寄付する
- 5) 十勝ジャガイモ（10月22日入荷予定）を横浜訓盲院、水上学園へ金子、今村、山添で配達予定
- 6) 横浜クラブ会則・細則の改訂検討委員会が発足したので、メンバーを募集 等々

その後、閉会点鐘にて定刻に終了した。

「第18回横浜YMCAチャリティーラン報告」

古田 和彦

第18回目となるチャリティーランが10月17日（土）、例年通り横浜みなとみらい臨港パークで行われた。当日、朝からの雨で、開催が危ぶまれたが、実行委員会の判断で開催された。9時の受け付け開始時には、かなりの雨が降り、横浜ワイズなどが担当しているチーム登録受付は、雨で受付用紙がにじみ心配したが、9時半すぎには小降りとなり、開会式の10時頃にはすっかり止んでしまった。

「汐入の池」での開会式では、恒例の子供たちによるチアダンスに続いて、今城大会実行委員長（つづきクラブ）の開会宣言により開始。今年は123チームのエントリーで、子供たちのCコースから始まり、Bコース、Aコースと予定通り開始され、熱戦が展開された。

横浜ワイズは上記の受付業務の担当だが、朝のチーム登録受付後は、弁当とお茶の配布。11時ごろからチームごとに、また、ボランティアは各自で取りに来るが、1000食以上をあらかじめ準備して手際よく配布した。さらに、食事後の弁当の空き箱を整理して、すべてのごみを回収する仕事を行った。天気もチャリティーランの熱気に押されたのか、昼頃からは薄日が差してきて、素晴らしい運動日和となった。



チャリラン支援メンバー

13時頃から閉会式となり、各表彰が行われたのち、寄付金6,150,000円が田口総主事に渡された。

横浜クラブ参加者：天野、伊藤メン・メネ、大高、金子、高田メン・メネ、田口、古田。

＜金沢八景クラブ設立10周年祝会＞

伊藤 誠彦

10月24日、金沢八景クラブの設立10周年記念祝会が横浜ベイシエラトンホテルの中華料理店「彩龍」で開催された。渡辺理事をはじめ大勢の歴代理事、次期理事を含め、約60名が参列した。



謝辞を述べられる 峯尾実行委員長



挨拶をされる門松会長

地域交流プログラムを展開している金沢八景クラブを象徴するように、多くの地元関係の参加者が目を引いた。

祝会は式典と祝宴からなり、黒川ワイズの司会のもと、門松会長挨拶、ゲスト・ビジター祝辞、峯尾実行委員長謝辞、と続き、祝宴の冒頭では剣舞、舞踏などの余興もあり、終始和やかな雰囲気の中に進められた。最後は、山田ワイズのユーモアあふれる閉会の辞で幕を閉じた。

横浜参加者は、金子、松島、伊藤メン・メネの4名。

「ワイズメンズ・クラブ入会—自己紹介」

大高 治



私は水戸市に生まれ、約40年の現役時代転勤を繰り返し、横浜に来て28年になります。その間海外と係る仕事に従事、多くの国を訪れ多くの方々の善意に支えられて来ました。

そのお返しにと横浜コンベンション・サポーターに応募しボランティアとして活動して来ました。そこで2010年のワイズ国際大会で当クラブと出会いました。幸運な巡りあわせと思います。この巡りあわせを大切にしていきたいと思います。

私は今年2月後期高齢者の仲間入りをしました。新規入会の高齢者記録を作ったのではないかと思います。一流のスポーツマンも高齢者新記録を打ち立てています。高齢者がもっと役割を果たせる時代になったように思います。幸い私の体年齢は64～5歳。国際会議のサポーターや、町内や西区のシニアクラブでの世話役を続けながら、伝統あるワイズメンズクラブでも、何かお役に立ちたいと思います。皆様のご指導とご鞭撻のほどお願い申し上げます。

「日本のジャズは戦後氷川丸から始まった」

藤澤 智晴



その日の東シナ海洋上は珍しく風いていた。船底にまでつめ込まれた3000名余の復員兵も心なしか、穏やかな表情を浮かべている。皆、フィリピン海域の島々の戦場における戦いで、命ばかりは永らえたものの深く傷ついていた。「こんな時が一番危ない」。

主計少尉・瀬川昌久は直感的に思った。やっと、懐かしい家族のもとにこれで帰れる、という安堵感が傷ついた兵士を死に誘う。船上でもう、何人もの兵士の死を目の当たりにしてきたから瀬川の緊張は解けなかった。

耳元に聞き慣れない曲が響く。見張り役の黒人兵の腰につけたラジオがその音源だった。いつもは厳しい言葉を浴びせかける黒人兵の目頭が少しうるんでいるように見えた。

“何の歌？”と聞くと“ジャズだよ。Sentimental Journey! 長くてつらい旅(戦い)を終えて家族のもとに帰れ、って歌だよ。”と答えが返ってきた。少しだけだ、でもその優しい旋律に瀬川は心を奪われる。「彼らも傷ついていたのか？」屈強な黒人兵の表情から、ようやくそんな当たり前の事実気づかされる。「横浜港に着いたら、これをやろう」いつしか瀬川には心に期すものが生じていた。「戦争は終わったんだ。敵も味方も、日本もアメリカも皆同じだ。今、皆が音楽を必要としている。俺はそれを実現しよう」

船を降りた瀬川は再開した日本劇場(日劇)の専属楽団“南十字星”に直談判に及ぶ。“傷ついた兵隊を元気づけて欲しい。金は払えないが、缶詰なら用立てられる。俺は主計少尉だ。”昭和20年11月、横浜港に着岸した復員船氷川丸船上にて戦後初のジャズコンサートはこうして開催された。

戦後70年のこの年、11月29日(日)午後、横浜港山下公園に接岸する氷川丸において、今も活動を続ける楽団“南

十字星”とジャズ評論家・瀬川昌久を迎え、あの幻のジャズコンサートを再現する。

テーマ曲は“Sentimental Journey”

主催 ジャズ喫茶ちぐさ

平和の大切さを噛みしめつつ。

「近況報告」

成瀬 澤史



数年振りに日帰りドックを受診しました。病気を探しに行くようなもので何と診断されるかびくびくした気持ちでしたが、案の定血小板の減少と脂肪肝を指摘されメタボ予備軍であり生活習慣、食生活に注意するよう指導され、更には消化管に異常所見が見られるので内視鏡二次検査を受けるようにとの判定でした。

持病の睡眠時無呼吸症、度重なる脳出血そして今回胃ガンとも宣告されれば耐え難いと思いつつも、松島先生は早期に発見され手術し回復し元気になられた様子だし、逃げていれば進行してしまい後悔しかねないと思い、意を決して再検査に臨みました。

以前、胃カメラがなかなか喉を通らずに無理やり押し込まれて苦しんだ体験がありますが、今回は屈強な先生でしたがやさしく操作してくれ、不安感はありませんでしたが胃の組織を取る事が出来ました。2週間後、慢性的な胃炎であり胃に巣くっているピロリ菌を除菌しなければと診断され、朝晩薬を6錠づつ一週間服用する羽目となりました。

その後、呼吸検査の結果、ピロリ菌は除菌され胃ガンになるリスクは低減したとのありがたい診断を頂き秋晴れの下、安堵して病院を後にしました。

「韓国光州YMCA短期研修団受け入れ歓迎会」

金子 功

10月5日、横浜YMCAは韓国光州YMCAから5人の短期研修団を迎え中央YMCA 8階ラウンジにて歓迎会を開催した。団長は光州YMCA使命委員のジャン・クエン Chol 氏、他の4人は全員女性であった。

歓迎会には田口総主事初め、横浜中央YMCA運営委員長高田一彦氏、国際事業委員長の金子功(いずれも横浜クラブメンバー)が出席した。光州YMCA訪問10回以上を数える高田ワイズは流暢なハングル語で乾杯の音頭を取り歓迎会を盛り上げた。

当プログラムの一つの特徴は、研修生がお互いにホストファミリーの世話になることで、当日もホストファミリーの家族も含め賑やかな歓迎会となった。

4泊5日の短期間ではあるが、横浜YMCAの多岐にわたるプログラムを見学・研修した後、最終日には富士山YMCAを訪問、光州YMCAより寄贈された「平和の鐘」を撞いて横浜YMCAのスタッフと共に平和を祈る予定になっている。

横浜YMCAと光州YMCAの交流は「少年サッカー交流」を開始した1978年に遡る。今や、長期・短期研修生相互受け入れプログラム、上海YMCAを含む3都市YMCA会議に発展している。

第二例会報告

天野 皓司

日時：2015年10月22日17:00~19:00

場所：中央YMCA 501教室

出席者：天野、伊藤、金子、高田、古田、松島、

協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) 11月例会プログラム
 - ・古賀健一郎氏入会式、
立会人：今城湘南・沖縄部長、高杉ワイズ（欠席の場合は神村ワイズ）
 - ・卓話：田辺裕氏（東京大学名誉教授、元国際地理学連合副会長）
- 3) 十勝じゃがいもの横浜訓盲院、水上学園搬送：10月29日（金子、今村、山添）
- 4) 金沢八景クラブ10周年記念祝会：祝儀1万円を金子会長持参
- 5) ウェルカムフェスタ対応：11月20日（金）14時よりバザーの準備（献品値付け）
- 6) ネットのつどい：11月28日熱海MOA美術館見学（金子会長メンバーに連絡）
- 7) 湘南・沖縄部一泊研修会（部長提案）：開催日は5月連休後の土日で一泊研修、開催場所は当クラブとしては富士山YMCAが望ましいと申し入れる（金子）
- 8) 次期部長提案による部会日程：先ず部役員会で審議するよう申し入れる（金子）
- 9) 次次期部長立候補者/被推薦者：当クラブから選任求められるも結論至らず
- 10) BF切手の取り扱い：送付方法について部役員で見直しするよう要請する（金子）
- 11) 東山荘100周年募金：当クラブとして3万円寄付
- 12) 横浜クラブ会則検討委員会発足
役員及び齋藤ワイズを委員とし、伊藤ワイズをコーディネーターとしてスタートする
- 13) 横浜クラブ12月例会・忘年会・周年記念
12月例会日（12月10日）に、創立記念礼拝と祝会とを行う。会場は別途検討。
- 13) 卓話予定、12月と1月は忘年会、新年会のため休み。
2月以降の候補：齋藤由也ワイズ、水上学園理事長、横浜YMCA専門学校



担当主事 青木 一弘

●ウェルカムフェスタのお知らせ

横浜中央YMCAでは今年度も恒例のウェルカムフェスタ（バザー）を実施いたします。昨年は皆様の多大なお力添えにより、約66万円の純益を国際・地域協力募金に充当させていただきました。今年は、開催日を再び11月23日（月・祝）に変更して実施いたしますが、今までのように中央YMCA全体の取り組みとして、また国際・地域協力募金の一環として行います。今年度も皆様からのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

開催日時：11月23日（祝） 10:00~14:30

会場：横浜中央YMCA

内容：ウェルカムフェスタ（バザー・抽選会）

※バザー献品大募集！！

ご家庭で使わずに眠っていたり、不要になった品物はありますか？是非、バザーコーナーに献品ご協力ください！

（例えばこんなもの…）

日用雑貨・贈答品・スポーツ用品・文具 おもちゃ・キッチン用品・インテリア小物・食品 調味料・お酒・食器（新品）・衣類（新品）

◆食器・衣類は新品に限ります。食品類は賞味期限内で未開封に限ります。）

◆献品は10月31日（土）まで1階・3階・5階・6階・8階にておあずかりいたします。ご不明な点は各フロア受付にお問い合わせください。

●チューリッププロジェクトのお知らせ

横浜YMCAでは、アレナ株式会社と協力して東日本大震災の被災地へオランダ産のチューリップの球根を届けるプロジェクトを展開しています。1袋のお買いあげにつき、1球が被災地に届けられます。皆様からの1球が、春には三陸の地にきれいな花を咲かせます。花プロジェクトへのご協力をお願いします。（個人でご購入希望の際は本部事務局・梶谷さんまでご連絡ください。）

11月例会プログラム

日時：11月12日（木）18:30~20:30

場所：横浜YMCA 501号室

司会：古田ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 …… 金子 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 …… 全員
3. 今月の聖句 …… 押川ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 …… 金子会長
5. 入会式（古賀健一郎ワイズ）
6. 食前感謝 …… 押川ワイズ
7. 卓話 「地名呼称の問題点 日本海か東海か」
田辺 裕氏 東京大学名誉教授
8. ビジネス・報告 …… 会長、他
9. **Happy Birthday** :
伊藤比朗美(7)、成瀬ヨシ子(15)、伊藤誠彦(16)
押川幸男(16)、天野美根子(17)、神村玲子(17)
10. 閉会点鐘 …… 金子会長

例会報告：高田ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1	火	19:00	Y-Y協議会	中央Y
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会 兼 85周年記念例会	中央Y
19	木	18:00	横浜YMCAクリスマス会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 046-641-5785